

●「看護部との円滑な業務の推進、医師・看護師の業務負担軽減をめざして」

④病棟外来担当技師制の導入

趣旨：看護部との多職種連携、円滑で効率的な業務の運営

概要：担当人数 ⇒各2～3人

活動の基本⇒検査科の「窓口」

記録と報告⇒技師長決裁

担当技師の役割：

- 1) 病棟・外来会議への参加
- 2) 相談・意見・要望等の「窓口」
- 3) 相互の連絡事項等の伝達
- 4) 採血管・採取容器の管理
- 5) 課題等の抽出(円滑な病棟業務等)
- 6) その他活動の検証

【効果】相互の業務の理解

情報の共有化  
専門性の向上

スムーズな  
運営



- 検査科からのお知らせ
- 基準値の変更
- 検査オーダーの方法
- 新規検査について
- 停電時の対応について等

周知する絶好の場所

## <6階東病棟(循環器、皮膚科)における業務支援の実施>

### 1) 輸血業務支援:

輸血製剤搬送 (FFP、PC含む)・本人・単独ルート確認など



看護師とのダブルチェック



電子カルテでの承認



ベットサイドでの確認



輸血製剤の搬送



FFP融解

### 輸血後感染症検査の説明

- ・直接ベットサイドに出向き、患者またはご家族に輸血後感染症検査について説明、「**輸血後感染症のおすすめ**」通知を手渡す。



# 千厩病院で開始した臨床検査技師による「病棟常駐業務」

## <運営方法>

- ・1日4時間、全病棟を対象にPHS、電子カルテを携行しての業務
- ・看護師との共同業務という形で実施

## <主な業務>

- ①血糖チェック(メイン業務になっていますが、スケール対象者は除外しています)
- ②日勤帯採血
- ③血液培養介助
- ④心電図
- ⑤輸血製剤搬送
- ⑥検体搬送
- ⑦回診同行
- ⑧材料管理
- ⑨検査室との連携
- ⑩各種カンファレンス参加



